

海を越えてひろがる交流の輪



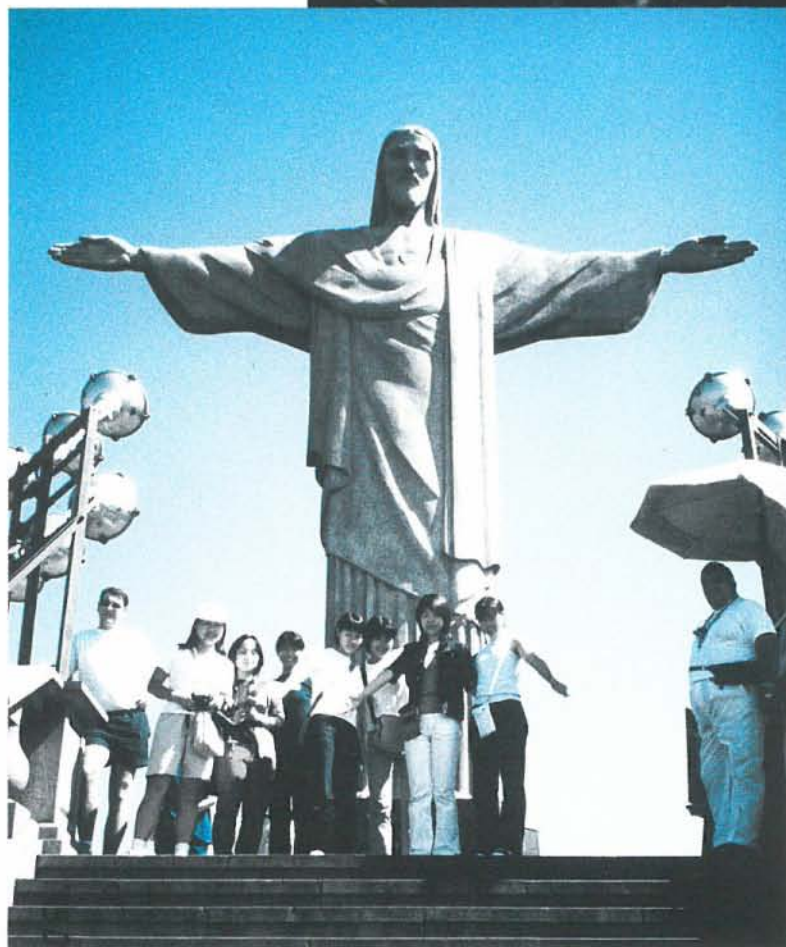
# Public Information

広報 vol.9  
2000.2

KAKOGAWA  
INTERNATIONAL  
ASSOCIATION  
財団法人 加古川市国際交流協会



習字に初挑戦・中部中学校にて



ブラジル・コルコバードの丘にて

## CONTENTS

1999年 国際交流レビュー 2

私たちにもできる国際交流って  
どんなこと? 5

I LOVE KAKOGAWA  
在住外国人紹介のページ 7

インフォメーション 8

## 4月 外国人のための 日本語講座開講 (4/8～翌3/16)

約40名の外国人が、登録ボランティアの指導により、日本語を学んでいます。初級2クラスと中級1クラスがあり、毎週木曜日の夜実施しています。

お知り合いの外国人に、ぜひこの講座を教えてあげてください。また、日本語指導を希望されるボランティアも随時登録を受け付けています。

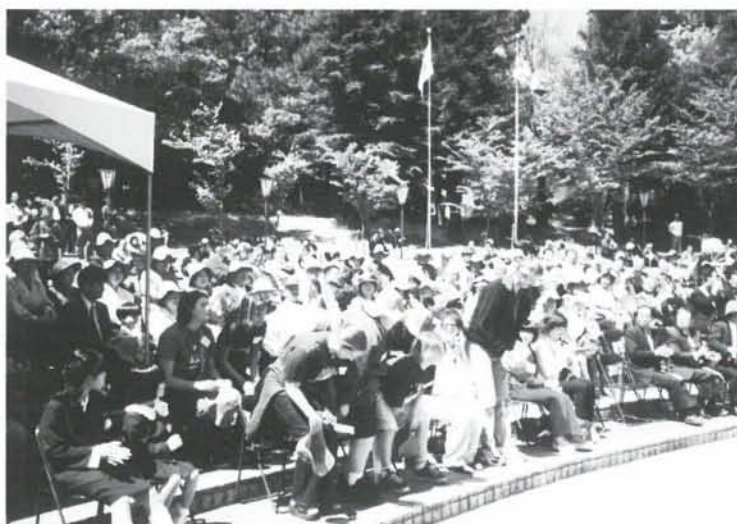


＜熱心に学習中の初級Bクラス＞

## 4月 ワイタケレ市中学生 加古川市を訪問 (4/29～5/14)

姉妹都市ニュージーランドのワイタケレ市から学生8名、引率2名が加古川を訪問しホームステイを体験しました。

学生たちは中部中学校や鶴林寺、文化センターなど市内施設を見学したり、姫路城を訪問したり、日本での生活をたっぷり満喫しました。2週間お世話してくださったホストファミリーのみなさんありがとうございました。



＜花と緑のフェスティバルに参加＞

## 4月 ワイタケレ市議会議員 加古川市を訪問 (4/30～5/3)

ワイタケレ市議会議員のアシッド・コーバンご夫妻と、市職員のワレス・パキ氏が加古川市を表敬訪問しました。

短い期間にもかかわらず、姫路市や淡路島も視察し、次の訪問地中国へと旅立たれました。



＜木下市長と握手をかわすコーバン氏＞

## 6月 インド式呼吸法講座 (6/25)

東京から講師をお招きして、インドで開発された「スダルシャン・クリヤ呼吸法」にもとづいた呼吸法講座を実施しました。

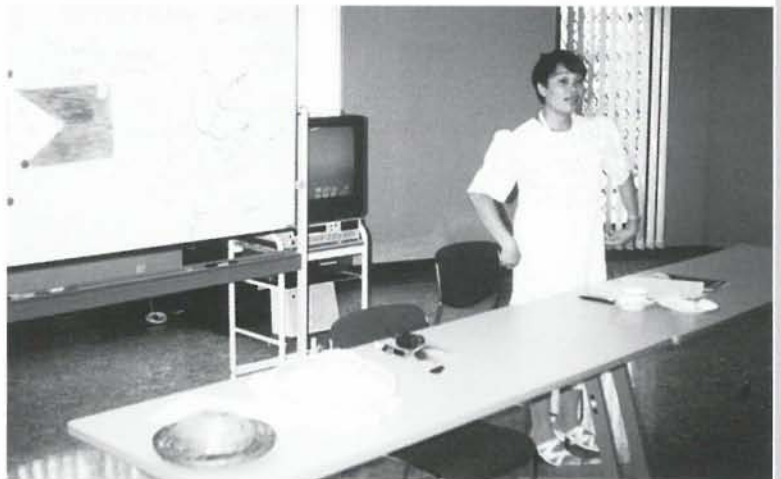
初心者を対象とした講座で、日常生活で簡単に取り入れられる呼吸法のみならず、柔軟的な物事の捉え方などを、あらためて考えさせられた2時間でした。



<瞑想の体験>

## 7月 ふれあいティータイム (7/14)

今回のゲストは、フィリピン出身のロチャ・リマ・イトウさん。日本人男性と結婚されてからの異国日本での生活、ふるさとの思い出や習慣などを、日本語で一生懸命話してくださいました。また、フィリピンのおもちゃや楽器を披露してくれました。



<フィリピン衣装のロチャさん>

## 8月 第8回加古川市青年海外派遣 (8/12～8/23)

女性ばかり8人の派遣生がブラジルを訪問しました。約24時間のフライトに疲れることなく、現地ではリオデジャネイロ見学、マリンガ市でのホームステイ、イグアスの滝、サンパウロ見学など元気一杯でスケジュールをこなし、無事帰国しました。

この事業は、加古川市在住で18歳から30歳の方ならどなたでも応募できますので、我こそはと思われるあなた、次回のご応募をお待ちしております。



<加古川・マリンガ外国語センター創立記念式>

## 8月 第9回加古川市 中学生海外派遣 (8/12~8/26)

日本より気温が約15度も低い真冬のニュージーランドでしたが、生徒たちはロッククライミングや乗馬体験、学校訪問など毎日盛りだくさんのスケジュールを元気よくこなしました。

今年は、加古川市長もワイタケレ市を訪問され、総勢60人にも及ぶホストファミリーへのお礼の夕食会を開きました。



＜ホストファミリーお礼の夕食会にて＞

## 10月 第8回ふれあい国際料理講座 5回コース (10/1~11/26)

秋恒例の事業で今年で8回目。韓国・メキシコ・ブラジル・インド・中国料理の5回コース。

韓国料理では、市内在住のカン・ユン・ヒさんに手早くできるキムチ入りの鍋料理と寒い季節にぴったりの鶏の雑炊を教わりました。また、ブラジル料理では、兵庫県の国際交流員エジナさんを講師にお迎えし、手軽にできるパステウなど和気あいあいと学びました。



＜インド料理にとりくむ受講者＞

## 11月 国際協力入門セミナー 3回コース(11/10・17・24)

私たち一人ひとりができる身近な「国際協力」を考えるセミナーを初めて開催しました。

1回目は青年海外協力隊として、中南米エルサルバドルに赴任し、幼児教育分野で活躍された大西麻美さんを講師に、今の日本がいかに豊かであるか、また途上国には人知れず飢え等で死んでいく人がどれほど多いかなど、現状をわかりやすく話ししてくださいました。



＜世界地図を使って説明する大西さん＞

## 12月 第8回加古川市障害者 海外派遣事前研修 (12/22・1/8・1/22～23)

12名の派遣生が決定し、2月9日にニュージーランドへ出発するまで、簡単な英会話や宿泊研修など、熱心に事前研修に取り組んでいます。

姉妹都市ワイタケレ市では、乗馬セラピーやカヌー練習、現地の人々との交流などを予定しています。



<昨年派遣のひとコマ>

## 私たちにできる国際協力ってどんなこと?

何かやってみたい! という思いのあるあなたに  
ぴったりの情報を集めてみました。

### 青年海外協力隊

**概要**：現地の人々と同じ言葉を話し、同じ物を食べ、生活を共にしながらアジア・アフリカ・中近東・東欧・大洋州・中南米などの国々の国造りに協力しています。春と秋の2回隊員を募集しています。

**応募資格**：20歳以上39歳までの日本国籍をもつ心身ともに健康な青年男女。

**問い合わせ先**

TEL 078-734-5175  
(兵庫インターナショナルセンター)

### シニア海外ボランティア

**概要**：日本国内の幅広い技術、豊かな経験を有する中高年の方で、ボランティア精神に基づき、途上国の発展のために貢献したいという人々の強い希望を実現させることを目的としています。

**応募資格**：40歳以上69歳までの日本国籍をもつ心身ともに健康な方。

**問い合わせ先**

TEL 03-3406-5273  
(シニア海外ボランティア係)

### 留学生ホストファミリープログラム委員会

“ホームビジット式”の受け入れ先募集!

私たちの地域に在学する留学生の90%がアジア諸国から来日し、近い将来国際交流の担い手となることが期待される若者たちです。

“家庭”生活の中での体験を共有し合う交流を通して、彼らに日本人や日本社会を正しく理解してもらうとともに、未来のアジア共生社会や地球市民社会への連帯を築いていきませんか?

**問い合わせ先**

TEL 078-241-8801 FAX 078-241-8846 (神戸YMCAクロスカルチュラルセンター)

## (財)PHD協会

日本とアジア・南太平洋地域の草の根の人々との交流を通して、平和と健康を担う人づくりをすすめ、共に生きる社会をめざしています。研修生を毎年受け入れており、彼らの滞在家庭、来日時の通訳も常時募集しています。国際協力、NGO活動、ボランティア活動などに関する情報、人材、経験をもとに、書籍や教材、スライドの貸出や、講演会などへ職員を派遣しています。

**問い合わせ先**

TEL 078-351-4892

## (財)アジア福祉教育財団 難民事業本部

世界の難民が2000万人以上と聞いても、遠い外国のお話と思いませんか？私たちのすぐ身近にも難民として日本に来た人や、難民を支援する人が大勢います。難民についてのさまざまな問題についてのセミナーを随時開催しています。

**問い合わせ先**

TEL 078-361-1700 (関西支部)

# ご協力ありがとうございました

昨年「広報かこがわ」3月号で、眠っている楽器の寄贈をお願いしたところ、多くの方からいろんな楽器をご寄附いただきありがとうございました。

1999年8月16日

## 加古川市民の皆様へ

加古川・マリンガ外国語センター  
校長 安永修道

拝啓 加古川市の皆様お元気ですか。

当校では、主に幼少年が日本語を学んでいるのですが、残念ながらブラジルの小・中学校では音楽、図画などの情操教育の時間がありません。そのために、この国には児童向きの楽器が無く、専門家が演奏する高価なものしかないと、加古川市国際交流協会の方に話しましたところ、加古川市民の皆様からたくさんの楽器をご寄附いただきました。このたび早速、青年派遣団の皆様にお届けいただき、大変感激しております。本当にありがとうございました。

私たちは、このセンターで日本語、日本文化などを学んで日本とブラジルとの交流、国際人として活躍される人材の育成に日夜努力いたしております。

最後に加古川市長はじめ、加古川市国際交流協会の皆様、また加古川市民の多くの皆様に心より感謝を申し上げます。

敬 具

マリンガ市から届いた礼状の抜粋です。



＜楽器を生徒に手渡す松本教育長＞

# I LOVE KAKOGAWA ⑥

## ～在住外国人紹介のページ～

今回は国際結婚で来日した、加古川市在住の奥様にお話をお伺いします。

今回のお客様 石上 ブランカ さん

はじめに自己紹介をお願いします。

**A** 私の名前は、ブランカ・アリシア・ディアス・デ・石上です。メキシコ出身で、日本に来て14年になります。



日本に初めて来た時の印象を教えてください。

**A** 木造で二階建ての家が多く、庭が狭いと思いました。

毎日の暮らしを教えてください。

**A** 毎日朝は6時頃起きて、子供のお弁当作りから始まります。それから他の主婦と同様、掃除・洗濯をします。

日本に来てからびっくりしたことは何ですか？

**A** 町と町の境界がわからない。例えば加古川と高砂の間に境界が無い。メキシコでは、境に5～数10キロ人の住んでいない所があり、その町ごとに特色があります。

趣味は何ですか？

**A** 友達とおしゃべりをする事です。それから衛星放送でスペイン語のテレビを見ることです。

加古川の印象を教えてください。

**A** だいたい日用品は近くで買えるので、特に不自由は感じていないですし、暮らしやすいと思います

昨年秋の料理講座では、メキシコ料理を教えてくださいましたが簡単にいうとどのような料理ですか。

**A** 豆料理、肉（牛、山羊、鶏）料理が主で、とうもろこしの粉で作るトルティーヤが毎日欠かせません。どれもとうがらしがいっぱいで辛い料理です。

お子さんが中学生とのことですが、日本とメキシコの学校との違いはどんな所ですか？

**A** 毎日の学習時間が非常に長く、その後クラブ活動で帰宅時間がとても遅いように思います。また、夏休みの宿題がとても多いです。メキシコでは、休み中の宿題はほとんどなく、遊んでばかりいました。

どこか日本を旅行したことはありますか？

**A** 来日当初は東京や京都へよく行きました。最近はその暇がなかなか無く、時々日本海側へドライブに行きます。

日本語はどのようにして覚えたのですか？

**A** 毎日の生活の中で覚えました。現在は2人の子供からいろんな言葉を学んでいます。

今一番興味を持っていることは何ですか？

**A** 2人の子供の成長です。

加古川に住んでいるみなさんへ伝えたいことはありますか？

**A** メキシコと交流してください。またメキシコへ観光に来てください。

最後に将来の夢を教えてください。

**A** いつか故郷に戻って暮らすことです。どうもありがとうございました。

(談) 上手な日本語でお話してくださるブランカさんですが、来日当初は全然日本語ができなかったそうです。一生懸命言葉を学び、地域に溶け込んで生活している人々の良き隣人でありたいものです。

# INFORMATION

## 第6回 市民国際交流講演会のご案内

- 日 時 平成12年2月20日(日)  
午後2時～3時半
- 会 場 加古川市民会館中ホール
- ゲスト マリ・クリスティーヌ氏  
異文化コミュニケーター
- テーマ 地球市民として生きる
- 入場料 無料(整理券が必要)  
※協会、各市民センター、市役所等  
の窓口にあります。
- 問合せ 国際交流協会事務局

## ボランティア募集

協会の事業をお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。

- ①語学ボランティア  
各種交流事業での通訳、ガイド及び翻訳
- ②各種サービスボランティア  
日本文化の紹介、外国人への日本語指導など
- ③ホームステイボランティア  
外国人のホームステイ受け入れ

## 図書の貸し出しをしています

協会では、日本語教育や国際交流関係を中心とした、参考図書やビデオテープの貸し出しをしています。ぜひお立ち寄りください。

## テレホンカード・古ハガキの回収

使用済みのテレホンカードやオレンジカードを回収しています。

ハガキは書き損じなど古いものでも結構です。集まったものは日本国際ボランティアセンターを通じて、東南アジアの復興に役立てられます。協会まで持参、もしくは郵送してください。みなさんのご協力をお願いします。

## 賛助会員募集

協会では、毎年国際交流活動や外国人の受け入れ事業など、各種事業をご支援くださる賛助会員の募集をしております。

会費は事業費の一部として活用させていただきます。

- 会 費 個人 1口 2,000円  
団体 1口 5,000円  
法人 1口 10,000円

- 申込書 協会事務所、市役所案内などにあります。詳しくは協会まで。

※会員には、指定旅行社の優待割引制度などの特典があります。

## ご意見・ご要望を！

市制50周年を記念して、平成12年6月に「加古川市国際交流センター」がオープンします。

そこで、こんな語学を習ってみたい！こんな国際交流をしてみたい！というみなさんのご意見やご要望を募集します。

今後の事業計画の参考にいたしますので、ぜひお寄せ下さい。

電話、FAX、またはEメールでも受け付けています。

2000年2月発行

(財) 加古川市国際交流協会  
〒675-0017  
加古川市野口町良野387-1  
TEL 0794-25-1166  
FAX 0794-25-0200  
E-mail kia@city.kakogawa.hyogo.jp

## 編集後記

新しい年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。最近協会では、国際協力などのボランティアに関する問い合わせが増えてきました。同じ「地球市民」として身近なところからの協力を考えていきたいものです。また、協会へのご意見、ご感想をお待ちしています。